50. ほろ苦いスマホデビュー

妻のガラケー携帯が壊れたので、ドコモショップに行って話している内に、夫婦でスマホにすることになってしまった。妻も私もガラケー愛好派だったのに。

妻はスマホにする気は全くなく、店員がそれとなくスマホの話に持っていこうとしても明確に拒否していた。ただ私は脇で聴いていて、ガラケーもスマホの電波を使い、料金もスマホとあまり変わらないというのが気になっていた。

私は何れスマホにという思いもあったので妻のガラケーの契約前に、最近サービスを始めた格安スマホ「アハモ」について聞こうとした。もし良ければ妻のガラケーと一緒に契約しようと思ったからだ。ところが、アハモはネットからの申込みのみで店頭では扱っていないと言われ、店員はガラケーから従来スマホへの移行の特典を説明しだした。何と 7 万円もする高級(?)スマホが実質無料だというのだ。矛盾を感じつつも、これに乗ってしまった。

挙句の果てに契約寸前の妻に対しても、「この際夫婦でスマホにしよう」と衝動的に言ってしまった。妻は大分抵抗していたが、「操作なんか孫に教えて貰えば何とかなる」ということにして夫婦でスマホデビューすることになった。妻は「らくらくホン」という年輩向けのスマホ（これは 5 万円位だが実質無料)、私は見栄（みえ）から「Galaxy」の 5G 対応品。一抹の不安は「らくらくホン」は取説付き、「Galaxy」は取説なし、という点だった。

早速夫婦で電話とメールのかけあいを始めた。ところが、いざ使ってみると、ああでもないこうでもないと、妻も私も悪戦苦闘。「Galaxy」なんか電話着信があっても応答ができない。幾ら当該個所を指で押しても応答できない。あきらめて頭を冷やすために風呂に入っていたら、妻が私の「Galaxy」を操作して発見した。何と、押すのではなく、ドラッグして応答するのだった。こんなのわかる筈がない。これは一例。

「らくらくホン」は取説を見ながら、私が LINE のダウンロードから始めたが、個人を登録できず不完成。結局購入店に行き相談したらすぐ解決。その後、アイパッドを使っての次男の嫁と孫の講義でやっと LINE が使えるようになった。

このため、「Galaxy」の LINE 設定は初めから戦意が無く、長男の嫁の所に行き全て設定して貰った。お陰で取り敢えず家族全員と LINE がつながった。が、追加も変更もままならない状況だ。私は妻と同じ「らくらくホン」にしておけばよかったと思ったが後の祭り。

妻は興味が出てきたのか、それなりに楽しみはじめたが、私は、まだまだ判らないことだらけだ。が、通話とメールと LINE が一応使えるようになったので、いったん休憩。

このスマホ、幾つかの疑問や不便がつきまとう。例えば、

・機器代金を無料にする販売方法（使用料で辻褄を併せる方法）の疑問
・データ量での契約のわかりづらさ。が、他に方法がないのかも。1GB の契約でどれだけネットが使えるか不明。使ってみて 1GB では少ないかも。WiFi をうまく使うしかない。
・余計な通知が多い、その度に着信音が鳴りわずらわしい。
・重いし、大きいし、胸ポケットに収まらないので、出掛けるとき困ってしまう。等々

有り余る機能や便利さで帳消し以上なのだろうが、年寄にはキツイ面もあるのがスマホだ。

（2021 年 4 月 17 日）